

会 議 録 ( 1 )

会議の名称	令和6年度 第5回入間市高齢者福祉審議会
開催日時	令和7年1月16日(木) 午前10時30分 開会 午前11時30分 閉会
開催場所	市役所 C棟5階 501会議室
議長氏名	小池 佐智子
出席委員(者)氏名	小池 佐智子、中林 敏正、東 一成、高山 京子、瀧澤 啓次、 吉田 美佐子、幡野 敏彦、山下 恵久子、松本 より子、宮澤 聖二、 今井 英雄、森谷 秀一、森本 剛、
欠席委員(者)氏名	遠藤 学、青柳 貴久
説明者の職氏名	高齢者支援課 課長 岩田 孝弘、主幹 井ヶ田 剛
会議次第 (公開)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 (1) 市独自サービス事業の見直しについて ● 答申(案)について (2) その他 4 答申 5 その他 6 閉会
非公開理由	
傍聴者数	0名
配布資料	資料1 市独自サービス事業の見直しについて(答申)【案】  ○「市独自サービス事業の見直しについて(答申)【案】」に係る事前 前に提出いただいた意見書 答申【修正案】 資料2 入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業・一人暮らし 高齢者等緊急システム事業の今後のスケジュール
事務局職員職氏名	【福祉部】部長 須田 美菜子、次長 忽滑谷 敦子 【福祉部高齢者支援課】課長 岩田 孝弘、主幹 井ヶ田 剛、 副主幹 コバチ 真実、主事 高橋 侑大、主事補 武井 陽菜 【健康推進部介護保険課】課長 下村 佳司
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 ( 2 )

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 )

■ 審議会の会議録に署名する委員については、吉田 美佐子委員を指名した。

#### ■ 議 題

##### (1) 市独自サービス事業の見直しについて

###### ● 答申（案）について

事前に各委員へ答申書（案）を送付し、意見をいただき、それを踏まえて答申書の修正案について採決した。

##### (2) その他

・ 入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業・一人暮らし高齢者等緊急システム事業の今後のスケジュールについて説明を行った。

#### ■ 答 申

採決された答申書修正案を審議会としての答申書とし、市長へ答申を行った。

#### ■ その他

##### (1) 豊岡東地域包括支援センターの移転についての報告

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>委員の皆さまには、会議がスムーズに運営されますよう、ご協力をお願いいたします。</p> <p>現在の出席委員は、13人です。よって、高齢者福祉審議会条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席がありますので、本日の会議は成立いたします。</p> <p>また、会議の傍聴については、ホームページで周知したところ、希望はありませんでした。次に、本日の会議録の署名をいただく委員を指名させていただきます。今回は、吉田委員、よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入らせていただきます。</p> <p>前回の審議会で、市長より諮問を受けていた市独自サービスの見直しについて審議し、審議会としての方針とするべく採決を行いました。</p> <p>本日は、前回の採決をもとに市長への答申書(案)について、を本日の議題とさせていただきます。</p> <p>答申書(案)の作成については、委員の皆様から一任をいただきましたので、審議会での意見を鑑みて、私の方で方向性を示し、事務局にまとめていただきました。そのあと、まとめていただいたものを、私の方で確認いたしまして、委員の皆さまに答申書(案)として送付させていただいて、ご意見を伺ったところ、森谷委員からご意見いただきました。</p> <p>森谷委員からご意見をいただいた部分については、私の方も考えていた部分でありましたので、そのご意見を反映させたものを本日ご用意させていただきました。</p> <p>それでは事務局から読み上げていただけますでしょうか。</p>
高齢者支援課 主幹	<p>森谷委員からは、見直した部分について、しっかりと明示した方がいいのではないかというご意見をいただきました。このご意見を踏まえまして答申書修正案を皆様にお示しをさせていただいております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>修正した部分については、太字と下線でお示しさせていただいております。太字の1について、入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業の中の令和7年度から、2年間は利用対象者から要支援1及び要支援2を外し、という部分をしっかりと加えさせていただき、タクシー利用券の最大発券枚数を1/2に削減するという部分も明示をさせていただきました。</p> <p>裏面2の一人暮らし高齢者等緊急通報システム事業の方になりますが、こちらについても、森谷委員からのご意見を参考にし、修正させていただきました。</p> <p>(答申書修正案の読み上げ)</p> <p>ありがとうございました。このように、答申書に見直し内容を詳しく記載する形に修正することでよろしいでしょうか。</p>
議長	<p>(一同異議なし)</p> <p>ありがとうございます。異議なしという結論をいただきましたので、これをもって答申書とさせていただきます。事務局は、答申書の準備をお願いいたします。</p>
高齢者支援課主幹	<p>市長が来られるまで時間がありますので、次に、2点目のその他を議題とします。事務局からお願いいたします。</p> <p>(資料2「入間市要援護高齢者等タクシー利用料金助成事業・一人暮らし緊急通報システム事業の今後のスケジュール」について資料に沿って説明。)</p>
議長	<p>ただいま事務局から説明をいただきましたことについて、ご質問等ありますでしょうか。</p>
今井委員	<p>発送する通知文に記載する電話番号は、市の代表番号と担当課の内線番号になるのでしょうか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>直通電話が無いため、代表番号と内線番号になります。</p>
今井委員	<p>市民が代表番号にかけたときに電話に出た職員がこの件の担当者ならいいが、担当者につなぐまでに時間がかかると、電話をした市民の気分</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>がよくないと思います。怒りがだんだん増してきて担当者につながったときにクレームが激しくなることが予想される。期間限定で、この件についての直通電話を設置することはできませんか。民間会社だとそういった対応をされています。そこまでお金がかかるとは思えないので、入間市でも検討するのはいかがでしょうか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>確かに代表電話にかけて、内線番号を伝えたりというのは面倒な部分もありますので、そのような対応ができるかについては、内部で協議させていただきます。</p>
松本委員	<p>要支援1・2の方は、例年、地域包括支援センターが代行して、一括で申請をしており、次年度の事前申請について、いつからなのかという話が上がっています。本日の午後に30名以上のケアマネジャーと地域包括支援センターが集まって認知症の研修が開催されるので、その場で審議会の内容をお知らせできれば、利用者に通知する前に、内部で話ができるので、お話ししてよろしいでしょうか。</p>
高齢者支援課主幹	<p>本日、審議会から見直しについての答申をいただくものですが、最終的な見直しは、市の内部協議を経る必要があります。現時点では、市としての最終的な決定がなされていないことから、申し訳ありませんが、内部協議を経た後でお願いいたします。</p>
幡野委員	<p>タクシー券の事前申請受付は、例年1月上旬からスタートしており、今の時期だと、すでに各事業所・地域包括支援センターが取りまとめている段階です。今年度については、まったく取りまとめができていない状態なので、今回の利用者への通知後、各事業所にも案内されると思いますが、ケアマネジャーの負担にならないように、通常よりも事前申請の受付期間を長くするなど配慮をしていただきたいと思います。</p>
高齢者支援課主幹	<p>申請期間を最大限長くとれるようにし、利用者にはなるべく4月から使えるような受付期間の調整を図りたいと思っています。</p>
議長	<p>そのほか、ご質問などはありますでしょうか。 (一同質問無し)</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>それでは市長がお見えになりましたので事務局お願いいたします。</p>
高齢者支援課長	<p>それでは、これより答申に移ります。</p> <p>令和6年10月31日付け入高第495号で諮問を受けた「市独自サービス事業の見直しについて」の答申を小池会長よりお願いいたします。</p>
小池会長	<p>(市独自サービス事業の見直しについて(答申)を読み上げ)</p>
杉島市長	<p>(答申書受け取り)</p>
高齢者支援課長	<p>ありがとうございました。それではここで少しの間、市長との懇談の場とさせていただきますと思います。</p>
小池会長	<p>タクシー券においては、委員の皆様からたくさんの意見が出ておりました。答申書にもある通り利用者の方、また、市民への周知について、市には、説明責任がありますので、丁寧に行っていただきたいと思っております。</p>
中林副会長	<p>審議も無事終わり、市長に無事答申できたことに感謝しております。</p>
森谷委員	<p>市長の今年の挨拶を市報で読ませていただきました。市長がこの一年間取り組まれている柱の考え方を拝見しました。3番目に書いてありましたが、教育が大事だということで教育施策について一生懸命やってくということが書かれていました。私も子どもの教育は大切だと思っておりますが、高齢者に対してどのような考えを持っておられるのかお聞かせいただきたいです。</p>
杉島市長	<p>ありがとうございます。まずは、本日答申書をいただきありがとうございます。高齢者の皆様方が安心して地域で最後の最後まで幸せに暮らせるようにするのが我々現役世代であり、若者の責務であり、しっかりとやっていかなければと感じております。</p> <p>高齢者が在宅で過ごし、自分らしい終末期の在り方というのを入間市では地域の先生方が熱心に取り組んで頂いており、我々としても、こうした所をしっかりとサポートして取り組んでいきたいと思っております。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小池会長	<p>高度医療や急性期医療も大事だが、これから自分らしい最後を在宅で迎えるというあり方についても、しっかりと取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>一方で、今年は、2025年問題の年になりますので、団塊世代のみなさんが後期高齢者に移行し、圧倒的に福祉費が伸びていくことになると思います。この費用の面、サービスの面というのをどうやって持続可能なものにしていくかというのは、入間市だけでなく国家的な課題であると思っていますので、皆さまが安心して過ごせるような体制を作るために我々が、どう市政を運営していくのか、この高齢者福祉を充実させていくのかというところに知恵を絞らなければいけないのだろうと思っています。</p> <p>入間市では、運動プログラムの増進をした事により、県内で3番目に健康寿命が長い自治体として国から表彰を受けました。健康福祉センターでスポーツ事業を展開したり、市の専門職である健康運動指導士が、みなさんや市民団体をサポートして健康づくりに取り組んでいこうとしてアプローチをした結果、健康寿命が伸びたということになります。医療にかかる事なく、元気で地域で暮らせるための介護予防、医療対策、健康作りというものに更に力を入れる事により持続可能な高齢者福祉のサービスを維持できるようにしていきたいと思っています。</p> <p>その点では、こうした独自事業の見直しというのは、真に重要な高齢者福祉施策を残すためにも、こうした努力もしていかなければという風に思っています。</p> <p>なかなか表面化されない医療との連携という部分にはなりますが、市長も開業医の先生方のところに行って話をしてくださっていることは聞いております。折角、医療のお話が出ましたので、東先生いかがでしょうか。</p>
東委員	<p>地域での在宅医療について、高齢者の皆様が最後まで自分らしい暮らしができるように今後もサポートしたいと思っています。</p>

発 言 者	発 言 内 容
小池会長	<p>まだ、お時間よろしければ一人ずつご意見を伺っていきたいと思いましたがよろしいでしょうか。</p> <p>では、順番にお願いします。</p>
高山委員	<p>シルバー人材センターは現在1,500名ほどの会員がおりますが、会員さんが要支援・要介護にならないように、シルバー人材センターの活動を通じて、一日でも長く元気に活動ができるようサポートしていきたいと思います。</p>
瀧澤委員	<p>特にありません。</p>
吉田委員	<p>近年、施設での看取りを希望する方が増えているので、今後は入居者とご家族様のニーズに合わせた施設運営、地域に根差した特色ある施設運営をしていきたいと思っています。また、市内の方たちに貢献できるような事業をしていきたいと思っています。</p>
幡野委員	<p>私たちは、住み慣れた入間市で、いつまでも元気よく住み続けられるよう、担当する高齢者の生活の困りごとや生活課題を聞きながらケアマネジャーとして支援をしていますが、最近は自宅で最期を迎えたいという方が増えているように感じます。今後も増えていくと思うので、ケアマネジャーも日々スキルアップをしながら頑張っていきたいと思えます。</p>
山下委員	<p>社会福祉協議会としては、市民の方に信頼され、相談に行くと安心する場所を目指し、入間市の総合相談支援室と社会福祉協議会の困りごと相談としっかり連携を取りながら、市民から信頼される社会福祉協議会として頑張っていきたいと思えます。</p>
森本委員	<p>認知症の人と家族の会に所属している森本です。認知症のことに関して、入間市では、認知症本人の支援ということでチームオレンジいるまに取り組んでおり、市民レベルで非常に盛り上がっています。本人への支援が広がっているように感じるが、一方で家族の支援となると、公的サービスが現状ありません。そのため、現在、私たちは、介護家族の権利宣言というものを認知症の人と家族の会で準備しており、介護者の集</p>



発 言 者	発 言 内 容
松本委員	<p>いなどで家族のサポートも引き続き行っていきたいと思っています。</p> <p>市長は認知症施策の現場に来る機会がなかなかないと思いますが、機会があれば一度見に来ていただきたいです。</p> <p>本日市長への答申ができたことについてうれしく思います。</p> <p>ケアマネジャーをしている中で、介護保険サービスを受けている方がご自宅で亡くなるという報告を多くいただくので、ご自宅で看取りができるように医療の先生方から教わりながら頑張っていきたいと思っています。</p>
宮澤委員	<p>2025年問題について、1950年生まれ、昭和25年生まれの方が75歳に到達するといわれ、後期高齢者医療制度に足を踏み込むこととなります。また、その後に2040年問題もあります。現在、市内に有料老人ホームが増設されてきているが、今後、高齢化率が上がり、2040年にピークを迎えたときに乗り越えられるのかと同時に、乗り越えるためには、長期的なビジョンを考えていく必要があると思います。</p>
今井委員	<p>私は、障害者福祉審議会にも出席しており、障害者福祉審議会の事務局からも市の財政状況の厳しさについて切々とお話をされている。しかし、毎年の予算決定後に市報の財政状況が記載されている部分を読んでも厳しさが感じられない。本当に厳しいのであれば、率直に市民に訴えるような市報の内容にするなど、ちょっとした工夫をした方がいいと思います。</p> <p>また、入間市の人口はすでに減少することが見込まれますが、所沢市では、多くの施設ができ人気が出ました。所沢市のマンションが高騰し購入が難しい人々が、今後、周辺の市に流れてくると予想されます。これを機に、そういった人々が入間市で建てたマンションに住むよう促進することで、人口減少を抑制できるかもしれません。したがって、マンションの建築促進策などを考えるべきだと思います。</p>
森谷委員	<p>私は、民生委員・児童委員に就いて今年で3年目になります。先輩から地域の見守りについて多くのことを教わりながら活動していますが、最初は地域の問題をあまり実感できませんでした。しかし、3年目を迎</p>

発 言 者	発 言 内 容
杉島市長	<p>える今、高齢者の孤立や子どもの問題に気づくことが増え、これらの対応の重要性を実感するようになりました。もっと早く民生委員の役職に就いていれば早く気づけたかもしれませんが、これからも地域の状況を理解し、真剣に対応していきたいと思います。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。</p> <p>これまで各分野の専門家の皆様に集まり、さまざまな審議をしていただき、ありがとうございます。市の運営は、皆さんの総合力にかかっており、皆さんが市民、高齢者、子どもたちのためにできることを一丸となって取り組んでいただくことが重要です。有限な予算の中で多くのことを成し遂げたいと思いつつも、困難な部分もあり、現場の課題に取り組む皆さまに少しでも関わられるようサポートしていきたいと思いつつ。私自身も現場の状況を知るために積極的に足を運びたいと思いつつ。引き続き、ご協力をお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
高齢者支援課長	<p>それでは、市長は次の公務が入っておりますので、ここで退席させていただきます。</p>
議長	<p>それでは、議題(2)その他に戻りたいと思いつつ、何かご意見ございますか。無いようでしたら、以上とします。</p> <p>本日の議題はすべて終了しましたので議長の座を下させていただきます。</p>
高齢者支援課長	<p>次第5その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次回の審議会開催日について</li> <li>・ 豊岡東地域包括支援センターの移転について</li> <li>・ やまゆり荘閉館に伴う利用者説明会について</li> </ul>
中林副会長	<p>(閉会のあいさつ)</p> <p>～令和6年度第5回高齢者福祉審議会終了～</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

2025年 2月 26日

議長の署名

小池 佐智子

議長が指名した者の署名

吉田 美佐子